

令和7年度 第1回野洲市スポーツ推進審議会要録

会 議 名 令和7年度 第1回野洲市スポーツ推進審議会

開催日時 令和7年5月26日（月） 10:00～11:55

開催場所 野洲市役所 3階 第1委員会室

出席者 委員 1号委員：山本博一委員

2号委員：駒井朔男委員、松並典子委員、松崎剛和委員、間岩太郎委員、
森地信晴委員、外田順一委員

市： 市長、市民部長、市民部次長(文化スポーツ担当)、文化スポーツ振興課長、文化スポーツ振興課担当

傍聴者 0名

次 第

1 開会

2 あいさつ

櫻本野洲市長

3 委嘱状の交付

4 委員、事務局紹介

5 会長、副会長の選出

委員の互選により、会長に山本博一委員を、副会長に松並典子委員を選出

6 諮問「野洲市スポーツ推進計画の時点修正について」

市長より審議会に諮問

7 議 事

(1) 時点修正の考え方について

資料1に基づき事務局より説明

⇒ 提案のとおり承認される。

(2) 計画の時点修正に係るスケジュール(案)について

資料2に基づき事務局より説明

⇒ 提案のとおり承認される。

(3) 現在の計画の検証について

資料3に基づき事務局より説明

●基本理念、基本方針、基本的な施策について

(主な意見等)

特になし

● 1 自ら行うスポーツ活動の推進

(主な意見等)

(委員)国スポのレガシーについては、障スポも含めて何かレガシー的なものが記載できる箇所があれば文言を追加できればいいのではないかな。

(委員)同じ人が同じクラブや同じチームで年齢を重ねていくばかりで新しい人の加入がほとんど見られない現状がある。連携や交流というところが現実ではあまり取り組めていない。各種団体が集まって、いろんな意見を出し合って、野洲市のスポーツの将来をどのようにしていくかという話し合いができる機会や場所が必要ではないかな。

(委員)指導者不足が大きな問題になっている。指導者やリーダーについても記載していくべきではないかな。スポーツ活動の中で、リーダーとして育っていくということもあるので、そうした視点のことも記載してはどうか。

(委員)スポーツウエルネス吹矢を普及しようとする、難点は吹矢のマウスピースをその都度購入しないといけない。使い回しする訳にいかないの。そうすると普及させたいんだけどそこら辺がネックになってくる。こういうところも話し合いが必要になってくると思う。

● 2 子どものスポーツ環境の充実

(主な意見等)

(委員)実施主体が行政機関だけのように読み取れる。現在は総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団のリーダーなども一緒に幼稚園等で運動指導しているので、そういうところも書き加えればどうか。

(委員)例えば、幼児3歳以下の未就園児には民生委員が関わっていたり、小学生には学童の指導員が関わっていたりと、遊びや運動を指導している方々もいるので、そういう活動も何らかの形で入れられないかな。

(委員)民生委員をしているが、どれだけできているかという点とまだまだというのが現状だが、よくやっていると言ってもらえると皆の気持ちがそちらに向くのかなと思う。幼稚園や小学校にもスポーツ指導などかわりを持っているが、小学校では姿勢の悪さが目につく。学校も教育目標の中に入れているが、実際はそれほど取り組まれているのが現状だ。幼稚園の子どもたちも体幹ができてない。気を付けの姿勢も長くできないなどバランス感覚が悪い。そういうことも踏まえて、現場の先生方の声も聞くことが審議会には必要ではないかなと感じている。

(委員)スポーツ少年団の現状だが、ここ十数年は団員が減少している。少子化も関係しているかと思うが。ただ、昨年度から今年度についてはほぼ減少せずに維持をしている。団員の確保も課題だが、先ほども話があった指導者の不足も大きな問題だ。指導者資格制度の変更や登録料の問題など課題も多く、現場に即した話を吸い上げてもらって、それに対して我々も含めて行政としてもどのようにサポートしていくかということも協議する場が必要ではないかなと思う。

● 3 スポーツを楽しむ地域づくり

(主な意見等)

(委員)総合型地域スポーツクラブについて、令和4年度から登録認証制度が全国で始まり、野洲市にあるさざなみスポーツクラブとYASUほほえみクラブは登録をしておき、認証制度も行うように準備を進めている。こうしたことも計画に反映できればと思う。もう一点、「各種スポーツ団体と連携し」とあるが、総合型地域スポーツクラブは多角的に対応しているので、例えば部活動の地域移行、地域展開なども含まれるので、こども課、高齢福祉課等の各課や教育委員会との連携という書き方だと今後の実際の動きに近くなると思う。

● 4 スポーツ施設の整備と充実

(主な意見等)

(委員)学校体育施設開放事業で学校体育施設を使用しているが、どうしても学校施設なので生涯スポーツの活動の場というより学校教育の場ということが優先され、修繕の必要性や優先順位も学校教育の場との視点で対応されていると感じている。これから部活の地域移行、地域展開の取り組みの中で小中学校の体育施設を使用することもあり得るので、年次的に修繕を行うとの記載はあるが、要望等により必要に応じて対応するというような文言を入れていただきたい。

(委員)以前から発言しているが、野洲市の総合体育館や中主B&G海洋センターは月曜日が休館日だが、祝日と重なった場合は休館日が優先されている。スポーツの日が10月の第2月曜日になったことから、スポーツの日なのにスポーツ施設が休館になっていることに違和感を覚える。開館するよう検討してほしい。可能ならばスポーツの日はスポーツ施設を開放するというような文言がこの中に入れてもらえれば非常にありがたい。

(委員)学校体育施設を利用しているが、施設が充実というより老朽化しており、破損して使用できない部分もある。少し危険なところも見受けられようになってきた。それから体育館ではワックスもかけられてないようでかなり滑る。この計画に書いてあるように長期的に計画を立ててもらって適切な維持管理をしていただきたい。

● 5 スポーツ交流・支えるスポーツ促進と情報の発信

(主な意見等)

(委員)交流事業としては、野洲川河川公園でびわ湖若鮎駅伝大会という障がい者の駅伝大会を開催している。もう10年以上継続しているが、障がい者の交流ということでもあり、他市からの参加もあるそれなりに規模が大きい大会なので、追記いただきたい。

8 その他

第2回野洲市スポーツ審議会の案内(8月頃の前定)

9 閉会